工事紹介　「南隈交差点外改良工事」

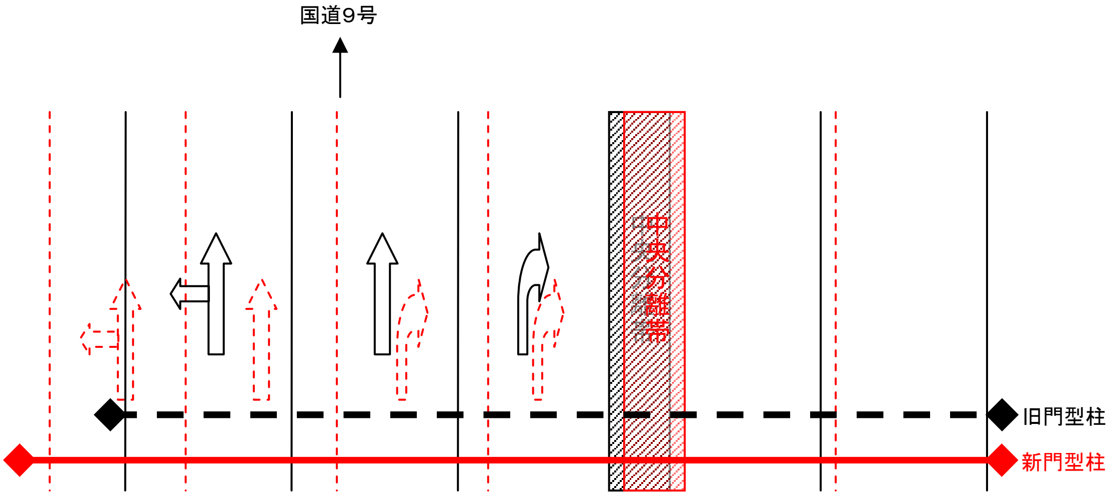
全面通行止めを行い、門型標識を架け替えました

国道9号と国道29号とが交差する「南隈交差点」は交通量が多く、事故や渋滞が多く発生しています。そのため、現在事故対策として9号に合流する29号下り線を拡幅し、右折レーンを増設する、交差点改良工事を行っています。

工事箇所には案内標識をたくさん設置している門型柱がありますが、道路の幅が広くなるため柱部分が支障となります。そこで今回、7月25日・26日の夜間で国道29号（南隈交差点～千代水交差点）を全面通行止めにし、門型柱の架け替えを行いました。

着工前

完成後



交差点改良のイメージ
（国道29号）

工事前
完成後

古い標識柱を撤去し、新しい標識柱を建てるまでの流れ

（1日目）

まず新しい標識柱の柱部分を建てます

道路を規制して、梁（看板が取り付けられる部分）を組み立てます

準備が出来たら、全面通行止めをして梁を設置します

梁をクレーンで持ち上げて・・・

新設の標識柱の設置状況

新設の柱に梁をボルトで取り付けます

既設の標識の撤去状況

既設の梁から、標識を取り外します

これで1日目完了です。

旧門型柱

新門型柱

標識がすべて撤去された状態です

（2日目）

翌日も通行止めを行い、まず撤去した標識を新しい柱に取り付けます。
その後、1日目と同じ工程で既設の柱を撤去して完了しました！

この工事では今まで歩道であったところが車道になります。交差点工事は今秋完成する予定です。